

生理学 実習

Physiology

1 単位 3 年 (前期)

細井 和雄・教授 / 歯学科 口腔生理学講座 (口腔分子生理学), 赤松 徹也・准教授 / 歯学科 口腔生理学講座 (口腔分子生理学)

長谷川 敬展・助教 / 歯学科 口腔生理学講座 (口腔分子生理学)

【授業目的】 人体の生理機能を、実際に自分の目で確かめ、測定し、その手技を習得する。さらに計測結果 (数値) を統計処理などにより整理し、正しく図表に現す。得られた結果の生理学的意義について理解する。

【授業概要】 測定原理を理解し、器具・装置操作の実際を学んだ後に、自分自身または相互に被検者となって、検査・測定を行う。

【授業形式】 実習

【授業方法】 実習

【授業場所】 第 1 実習室

【授業テーマ】 人体諸機能のいくつかを実際に測定し、数値化の過程を体験する。

【キーワード】 咀嚼筋, 筋電図, 心電図, 心電図解析, 口腔感覚, 味覚, 咀嚼, 咀嚼能率

【先行科目】 『基礎生物学/基礎生物学 DI』(1.0), 『基礎生物学/基礎生物学 DII』(1.0), 『生理学 A・B 講義』(1.0)

【関連科目】 『生理学 C・D 講義』(0.5)

【履修上の注意】 原則として、全回出席をもって履修を認定する。
実習手順・内容、あるいは関連する課題等に対する理解度を評価するための試験 (筆記試験・口頭試問・実技試験を含む) を行うので、実習目的・意義や測定結果の解析・解釈は勿論のこと、各課題についても十分に理解すること。

【到達目標】 (<> 内はコアカリ対応)

1. 各種生理機能の測定器具・機器を使って正しい測定ができる。
2. 測定法の原理を説明できる。
3. 計測値のデータ処理ができる。
4. 簡単な統計処理を行うことができる。
5. 実習報告書を作成できる。
6. 咀嚼筋の位置・形状を説明できる。 D-2-3)-(2) 運動器系-④
7. 筋電図用電極の準備・装着ができる。
8. 筋電図を記録し、解析することができる。
9. 心電図を記録し、解析することができる。 D-2-3)-(3) 循環器系-①
10. 味覚・歯の感覚等の各種口腔感覚を説明できる。 D-2-3)-(4) 感覚器系-④
11. 咀嚼値と咀嚼能率を説明できる。 F-2-2)-⑥
12. 咀嚼能率を測定し、解析することができる。 F-2-2)-⑥

【授業計画】

大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1. 講義	実習講義 項目説明	各項目 (特に、まだ講義が終了していない項目) に関する予習と要約。 各項目の内容と到達目標等の解説。	2~5	全教員
2. デモ実習	実機デモ	各項目について、機器・器具類の使用法説明や使用上の注意を受けたのち、実際に操作してみる。	1~12	〃
3. 筋電図	咀嚼筋筋電図	被検者の所定箇所にて電極等を装着し、食物咀嚼時における開口筋・閉口筋の筋電図を記録する。 各自交代して被検者となる。	1~8	〃
4. 循環機能	心電図	被検者数名を選び、心電図を記録する。	1~5, 9	〃
5. 感覚	口腔感覚の検査	口腔内における諸感覚の閾値や精度を相互に検査する。	1~5, 10	〃
6. 咀嚼能	咀嚼値の測定と咀嚼能率の算出	所定の方法により各自自身の咀嚼値を求め、石原式と Mannley 式で咀嚼効率を算出・比較する。	1~5, 11, 12	〃
7. 実習評価	実習内容・課題等に対する理解度評価	筆記試験・口頭試問・実技試験により、理解度を評価する。	1~12	〃
8. 総括	講評・総括説明	今回の実習で、達成できた目標と、不十分に終わった目標とをそれぞれ説明するとともに、実習中の反省や今後注意すべきこと等を指摘する。	2~15	〃

【成績評価】 全項目を誠実に (実習態度も含む) 履修した上で、実習内容・課題等に対する理解度を、実習日 1 日を用いて行う試験 (筆記試験・口頭試問・実技試験を含む) により評価し、所定の水準を満たすものを合格とする。

【再試験】 原則として行わないが、必要と判断した場合に、一度のみ何らかの再試験 (口頭試問、課題レポートを含む) を行うこともある。

【教科書】

- ◇ 実習書: 当講座作製の実習指針書を配付する。
- ◇ 参考書: 第 6 版 歯学生理学実習書, 2006 年 (医歯薬出版株式会社)
- ◇ 参考書: 新・生理学実習書, 日本生理学会 編, 1991 年 (南江堂)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217335>

【連絡先】

- ⇒ 細井 (088-633-7323, hosoi@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (木 16:40-17:40/6F 口腔分子生理学・教授室))
- ⇒ 赤松 (口腔分子生理学 第2研究室, 088-633-7324, akamatsu@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (金17:00-18:00/6F 口腔分子生理学・第2研究室))
- ⇒ 長谷川 (口腔分子生理学 第2研究室, 088-633-7324, thase@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (水16:40-17:40/6F 口腔分子生理学・第2研究室))

【備考】 不注意による怪我・感電・感染・汚染等の事故を起こさないよう、各自気を配り相互に注意しあうこと。使用した机や器具類の清掃・洗浄は、各実習項目終了後、毎回行うこと。